

「あかり」 AGAIN」

工学部物質生命化学科 1年

136-T1823 松本和也

130-T1737 竹田専子

「火のあかり」

説明

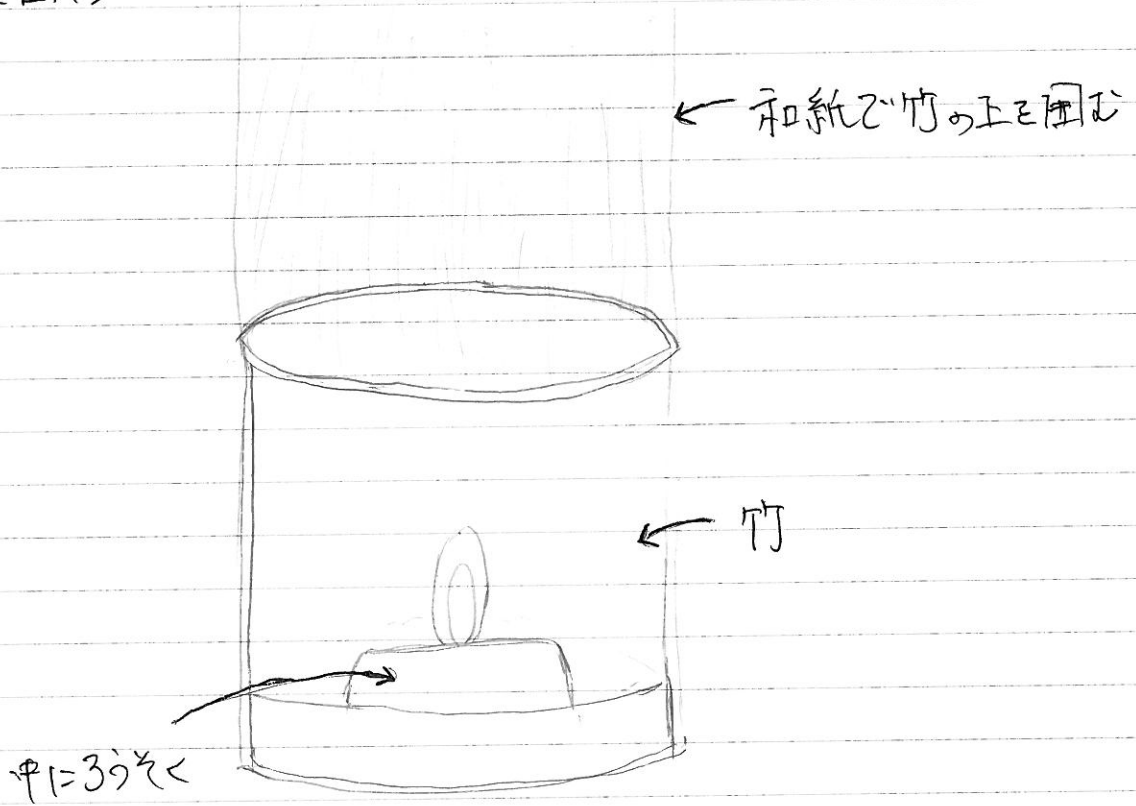
図1は地元の大分県日田市での天領祭の中の「千年あかり」というものを参考にしたものである。この「千年あかり」は人気で多くの観光客が見に来る。これはLEDを癒しの幻想へと導いてくれるように感じる。また、これに工夫を加えたものが図2である。

図2は竹ではなすがラスを用いて、ガラスの反射や色などの特性を活かして「美しい灯火を見せる」とができる。さらに、化学から炎色反応を用いることにより、LEDと人の色が楽しめ、よりLEDと人の人を魅了させることができる。

用途

日が短くなる時期に熊本大学の学食に続く夜道に置いて、また大学だけでなく私達は、昨年の九州北部豪雨で被害にあった阿蘇市にボランティアで差し上げて地球復興に使ってほしいと考えている。

<図1>



<図2>

